

成都マラソン 報告書

大会名: Chengdu MARATHON

日時: 10月27日

結果: 6位

洞ノ上選手文責(福岡県)

初出場の成都マラソンに行ってきました。

まずは、珍道中から報告させていただきます。

ヨーロッパやアメリカでしたら、移動日抜きで、中三日で調整をしますが、今回は、中国なので、時差も少なく、移動時間も短いので、レースの前々日入りしました。

福岡空港発、成田空港経由で、成田から中国成都までの直行便をチョイスしました。

しかし、11月25日の金曜日は、成田空港が悪天候のため封鎖され、急遽伊丹空港に着陸。

事情を説明し、ANAの地上係員の方に、代替え便を探してもらいました。

なんとか、翌朝関空発、北京経由、成都行きで3席空きを見つけていただきました。

最初は、現地まで行けるか不安でしたが、なんとか振替便があつてホッと一安心でした。

しかし、翌日の北京空港では、トランジットは2時間ほどあつたのですが、空港が大きすぎてか？成都行き飛行機に乗り遅れるところでした。中国の地上係員さんと猛ダッシュしましたwなんとか成都の空港に無事到着したのですが、案の定口ストバゲッジにあい、荷物は後便に載ってるとのことでした。

とりあえず大会事務局の送迎車に乗り込み、レース前日の夕方6時に、やっとの思いでホテルに到着しました。

ホテルは、成都のヒルトンホテルで、今まで招待してもらったホテルで一番良いホテルでした。

しかしホテルの滞在が36時間という、かなりタイトなスケジュールとなり、残念ながらホテルや成都の街を満喫することはできませんでした。

レーサー等の荷物が、22時頃にホテル到着・・・翌日は、5:20にホテルのロビー集合だったので、かなりバタバタとなつてしまいました。

スタートラインに立てる喜びをかみしめ、眠りにつきました。

初参加でしたので、コース下見をしたかったのですが、今回は、とても下見に行ける状況ではなく、めずらしく不安の中スタートラインに立つこととなりました。

コースは、コーナーが多いですが、基本フラットで、風もあまりなくタイムが狙えそうな感じでした。

スタートして、僕が先頭に出て、ハイペースをキープしました。

その後、中国のジン選手がアタックを仕掛けてきましたが、しっかり対応しました。

その後も、何か合図のようなものを送り、またジン選手がアタックをしたので、これは僕ら日本人選手に追わせて、疲れさせる作戦だと思い、追いかけていませんでした。

まだ僕と同じ第二集団に、中国のダイ選手やチェンミン選手といった超強力な選手がいたので、心配はしていませんでした。しかし、じわじわと離されていき、結果そのまま逃げを決められてしまいました。

もう一人の日本人の河室選手が 15 km地点で、パンクで脱落... そこからは、中国人数名vsホッケー選手といった構図でした。30 km地点までは、とても良いペースでしたが、折り返しを利用してアタックを行いました。

そこから何度もアタックを行いましたが、チームチャイナが一丸となり、追いかけてきて、数名の中国選手は、引き離すことができましたが、まだ 4 名の選手が付いてきました。

そこからアタックを警戒してか、集団のペースは一気に落ちました。

39 km地点から公園内に入り、テクニカルなコーナーが続きます。

コースを知らない僕は、とりあえず先頭で路面状況を確認したり、コーナーのライン取りを意識して、ポジションをキープしました。

公園内は、思いのほかアップダウンがあり、体力を奪われてしまいました。

そして、最後の最後、公園から抜ける時に、危険なコーナーがあり、そこを抜けると、車道に出て、そこからは 200m でゴール！と前日のミーティングで確認していました。

その公園から抜ける危険なコーナーを思いきり攻めて、2 番手で車道に出ることができました。

良い感じで速度が乗っていたので、前の選手も一気に抜きにかかりました。

残った全ての力を振り絞ってのゴールスプリントでしたが、しかし、ゴールらしき看板が見当たらず、目の前には人垣が... 頭の中が一瞬真っ白な状態になりました。

中国選手から抜きかえされてしまい、そして突然左折...その 200m 先がゴールでした。

その直線で力尽き、後続の選手からも抜かれてしまい、その集団の最後尾でのフィニッシュでした。

初コースでの下見の重要性を改めて感じる結果となりました。

来年また招待していただけることがあれば早めに現地入りし、しっかり下見や試走を行いたいと思います。

今回は、世界ランキングを上げることは出来ませんでした。新しいレーサーでのチャレンジで、登り坂も良い感じに押し込めたので、とても良い手応えをつかむことができました。

応援ありがとうございました。

次は、いよいよ今週末に迫りました大分国際です。

東京パラリンピックの切符がかかる大事な大会です。

10 日間に及ぶ宮古島合宿を行い、パワーアップをすることができました。

良い結果が報告できるように頑張りますので引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

成都マラソンリザルト

- 1 Jin Hua 1:28:10
- 2 Day Yanqiang 1:29:06
- 3 Liu Chengming 1:29:07
- 4 Yang Yaoxiong 1:29:08
- 5 Zhang Ying 1:29:12
- 6 洞ノ上 1:29:14
- ? 河室 ?::?(パンク)



(前日現地の日本人ボランティアの方から
コースの状況を確認)



(荷物が届いてホッと一安心)



(ロビーでバタバタとタイヤ交換)



(まだ薄暗い早朝 7 時)



(スタート地点に向かうバスの中)



(優勝した Jin 選手と。彼と最初にあったのは
4 年前で、その時は、まだ小さかったのに、
とてもたくましくなりましたw)